



SOMPOアセットマネジメント
損保ジャパンDC証券

経済・金融市場見通し

2020年10月

2020年10月12日発行

SOMPOアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第351号
加入協会／一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

損保ジャパンDC証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第106号
加入協会／日本証券業協会

SOMPOアセットマネジメントが作成したマーケット情報「経済・金融市場見通し」です。
なお、このマーケット情報は、投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品等への投資勧誘や運用の推奨または確定拠出年金の運用商品に関する情報提供等を目的としたものではありません。

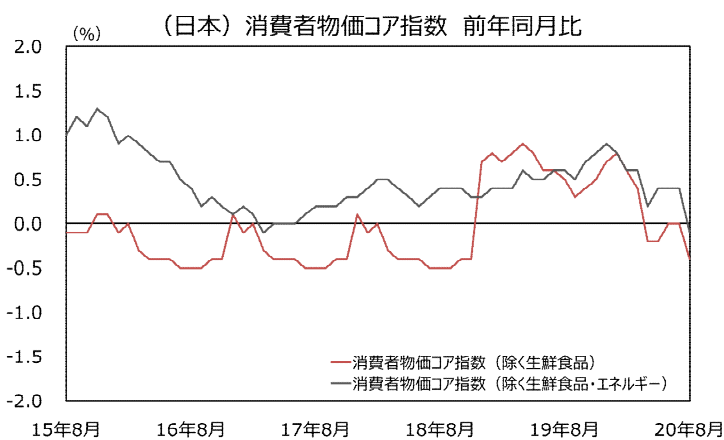
経済・金融市場見通し： 国内

経済環境

日本経済については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による下押しからわずかに回復し、最悪期を脱しましたが、消費、生産、設備投資等の経済活動の水準は、依然として感染拡大前を大きく下回っており、今後の回復ペースも緩やかなものになると予想します。

物価については、8月の消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比-0.4%（7月0.0%）となりました。今後も、0%前後の伸び率が継続すると考えます。

菅新首相は財政・金融面で安倍政権の政策路線を引き継ぐ意向を示しています。また、規制改革の推進やデジタル庁設置などの独自色も出しています。今後については、こうした対策の効果に加えて、追加経済対策の動向が注目されます。



債券市場

◆ 前月の振り返り

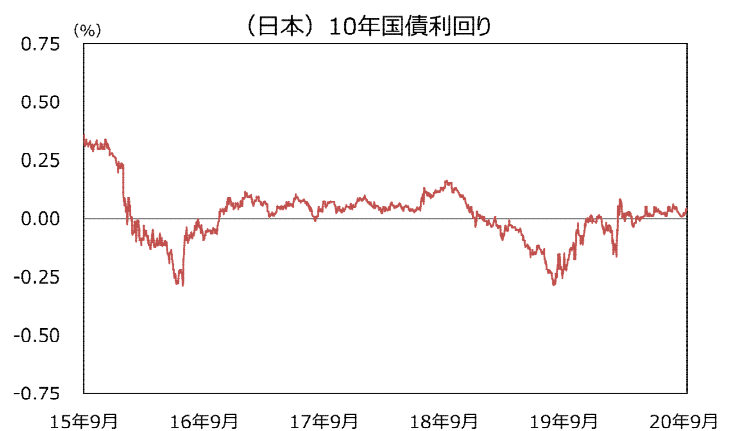
9月の国債利回りは低下しました。

前月までの超長期ゾーンを中心とした国債需給悪化懸念がやや後退したことで利回りは低下基調となりました。また、欧州の一部で、新型コロナウイルスの感染が再拡大したことや、高値圏で推移していた米国株式がハイテク株を中心に調整したことから、海外利回りが低下したことも利回りの低下要因となりました。

◆ 見通し

今後については、利回りは現状程度の低水準での推移を予想します。

経済活動を従前の水準まで回復するには時間を要すると予想され、景気的大幅悪化からの持ち直しは限定的と考えます。ただし、足元の円高傾向が継続しない限りにおいては金融政策の変更は考えにくく、金利の低下幅は限定的であると予想します。



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
国内債券 10年国債利回り	0.01%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し： 国内

株式市場

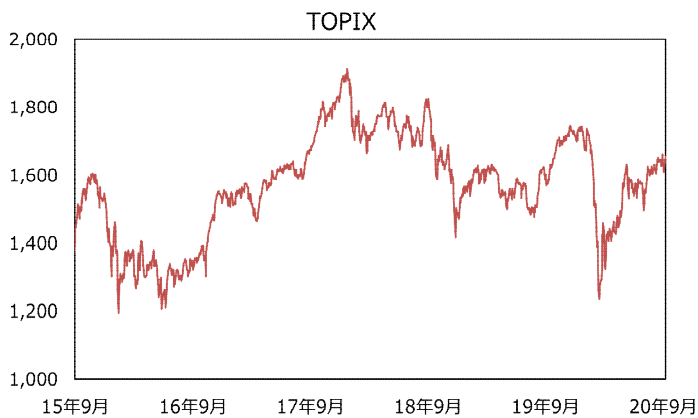
◆ 前月の振り返り

9月の国内株式市場は、海外市場比での出遅れ感から物色されたものの、米国における追加経済対策の合意の遅れや欧州での感染再拡大への懸念が重石となり、小幅高に終わりました。

◆ 見通し

国内株式市場は、上値の重い展開を予想します。企業業績への期待は底入れしつつあるものの、経済活動の正常化後を見越した本格的な回復を織り込むまでには、今しばらく時間を要すると予想します。これまでの株価反発の結果、国内株式市場の割安感は失われつつあること、米国の大統領選挙を控えた状況ではリスクテイク意欲が高まりにくいと見られることも、株価の重石となりそうです。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大などに起因する経済の下ぶれや市場の急変に対しては、引き続き各国政府・中央銀行が支援的な政策の強化で応じると予想されるため、株価のダウンサイドは限定的と見ています。



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
国内株式 TOPIX	1,403.04	1,625.49	1,600	1,650	1,680	1,700

予測値は予想レンジの中心値を記載

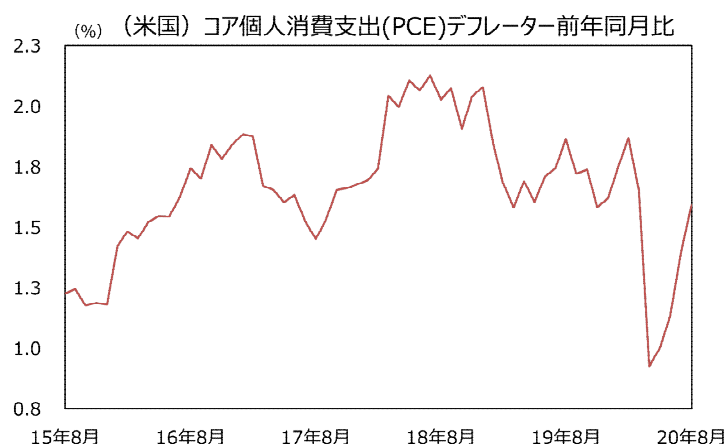
■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済環境

米国経済については、新型コロナウイルスの感染拡大が継続する中で、経済活動の再開は制限付きとなっており、今後の景気回復は緩慢なペースとなると考えます。

個人消費支出価格指数は、変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で、8月は前年比1.6%（7月1.4%）となりました。また、9月の失業率は7.9%（8月8.4%）に低下しました。

米国では大統領選挙を控え与野党の対立が深まっており、経済対策をめぐる議論が停滞しています。大統領選挙や連邦議会選挙において、民主党が勝利した場合は、大型の景気対策に加えて、企業や富裕層に対する増税が行われる可能性が高く、その動向が注目されます。



債券市場

◆ 前月の振返り

9月の米国10年債の利回りは、低下（価格は上昇）しました。

ハイテク株を中心に米国株式が下落したことや、ドル高及び資源価格の下落によりインフレ圧力が弱まったことを背景に利回りは低下しました。また、FRB（米連邦準備理事会）が長期戦略としての金融政策運営を緩和方向に見直しましたが、利回りへの影響は限定的でした。

◆ 見通し

今後については、現状程度の低水準で推移すると予想します。

経済活動を早期に従前の水準まで回復することは困難であり、また、大統領選後の見通しにも不透明感があることから、金利は上昇しにくいと考えます。一方で、FRBが金融緩和政策を一段と強化する可能性は低いと考えることから、金利の低下余地も限られると予想します。



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
米国債券 米国10年国債利回り	0.67%	0.68%	0.70%	0.70%	0.75%	0.75%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し： 米国

株式市場

◆ 前月の振り返り

9月の米国株式市場は、3月安値からの相場回復を主導してきたナスダック総合指数の株価調整に加え、米中関係の悪化懸念や追加経済対策の合意の遅れも嫌気されて下落しました。

◆ 見通し

ナスダック総合指数の調整により、バリュエーションの割高感が若干薄れた一方で、トランプ大統領の新型コロナウイルス感染により、追加経済対策の合意の行方や、大統領選挙及びその後の政策見通しについて不透明感が増したことから、目先は方向感の定まらない展開を予想します。

新型コロナウイルスの感染再拡大や米中間の対立、大統領選挙など波乱要因が多いものの、FRBの金融緩和政策が株価を下支えすると考えられるため、相場が大きく崩れる展開は想定しづらいと考えます。

為替市場

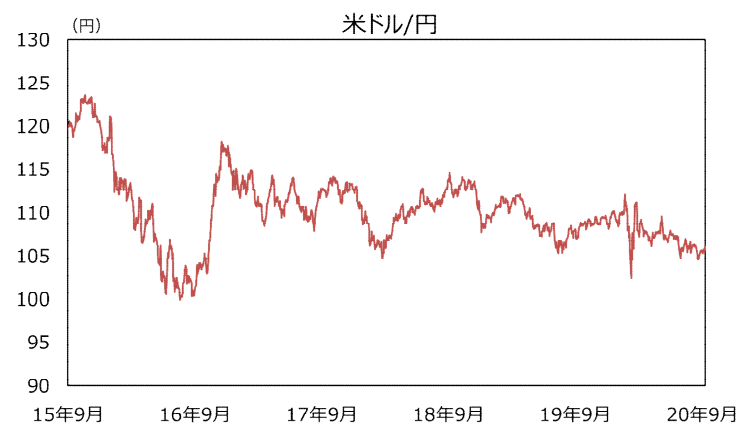
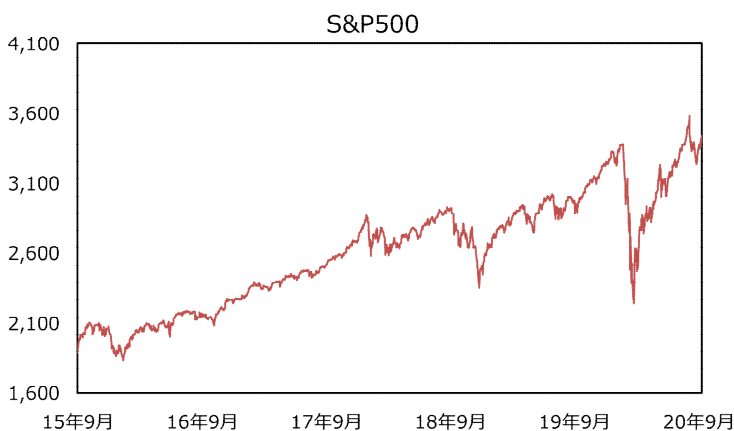
◆ 前月の振り返り

9月のドル円相場は、前月末対比で概ね横ばいでした。FRBが低金利政策の長期化見通しを示したことや米追加経済対策の不透明感などから円高ドル安が進む局面もありましたが、株価や商品価格が軟調となるなか、ドルが選好されたことから、前月末対比では概ね横ばいとなりました。

◆ 見通し

今後については、横ばい圏での推移を予想します。

FRBの大規模な金融緩和によるマネタリーベースの拡大や日米金利差の縮小が円高ドル安要因となるものの、日本の貿易赤字拡大による円安圧力があることなどから、方向感に乏しい展開を見込みます。



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
米国株式 S&P500	2,584.59	3,363.00	3,350	3,400	3,450	3,500
為替 米ドル/円	107.96	105.53	106.00	106.00	106.00	106.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し： 欧州

経済環境

欧州経済については、新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動が大きく落ち込み、足元では再び感染者数が増加する中で、経済活動の再開も限定的となっており、今後の景気回復は緩やかなペースにとどまる見込みです。

物価については、9月の消費者物価指数は変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で前年比0.2%（8月0.4%）となりました。

欧州では、経済活動の制限が長期化する見通しであり、景気回復には時間を要する見通しです。そうした状況下において、ECB（欧州中央銀行）は必要に応じて金融政策を強化する姿勢を示しており、また域内の各国も独自の財政政策を実施することで、長期的に景気の下支えを図ると考えます。

債券市場

◆ 前月の振り返り

9月のドイツ10年債の利回りは、低下（価格は上昇）しました。

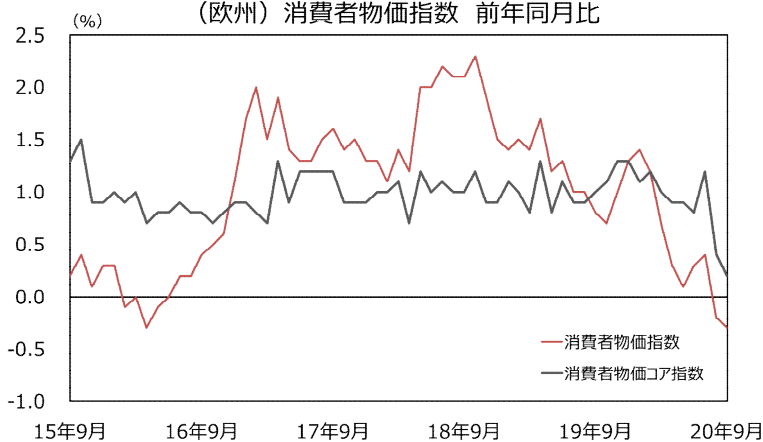
インフレ率が低下傾向であることに加えてユーロ高からデフレ懸念が高まったことや、新型コロナウイルスの感染が再度拡大傾向となったことを受けて、利回りは低下しました。

◆ 見通し

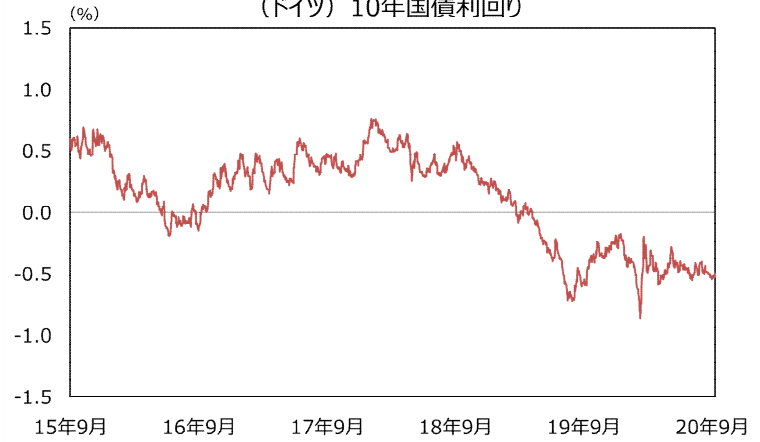
今後については、ドイツ債券市場の利回りは、現状程度の低水準で推移すると予想します。

経済活動は徐々に再開しているものの、従前の水準まで回復するには時間を要する状況においては、利回りは上昇していくと考えます。一方で、政策金利の引下げは見通しにくいことから、利回りの低下幅は限られると考えます。

(欧州) 消費者物価指数 前年同月比



(ドイツ) 10年国債利回り



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
欧州国債 ドイツ10年国債利回り	-0.47%	-0.52%	-0.50%	-0.50%	-0.40%	-0.40%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し： 欧州

株式市場

◆ 前月の振り返り

9月の欧州株式市場は、米国株式市場の調整に加えて、域内の新型コロナウイルスの感染再拡大や、同大手銀行の違法な資金移動疑惑の報道等を受けて下落しました。

◆ 見通し

7月の復興基金合意を受けて以降、金融財政政策による域内の景気回復期待が高まっていたが、新型コロナウイルスの感染再拡大による行動制限再開、ECBの追加緩和政策の見送りをを受けて急速に期待が縮小しています。さらに英国のEU離脱を巡る不透明感が再び台頭してきていることから、目先は神経質な展開になると考えられます。

ECBの金融緩和政策や各国の財政政策による景気回復期待が縮小しているものの、今後も株価が維持されていくには、新型コロナウイルスの感染再拡大のピークアウトが必要と考えています。

為替市場

◆ 前月の振り返り

9月のユーロ円相場は、円高ユーロ安となりました。

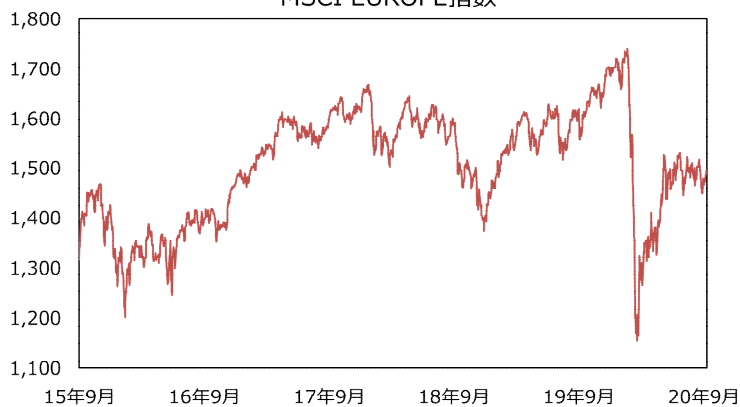
ECBによるユーロ高牽制への警戒感や英国とEUの通商交渉の不透明感からユーロが売られたことや、世界的に株価が下落し、リスク回避姿勢が強まったことで円が買われたことなどから、円高ユーロ安となりました。

◆ 見通し

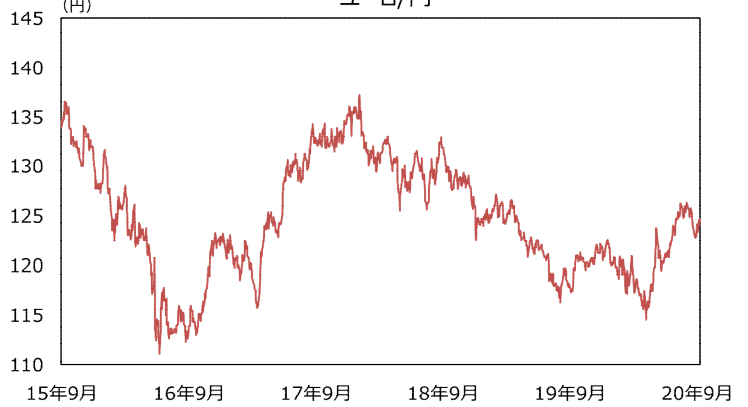
今後については、ユーロの上値は重くなる展開を予想します。

ユーロ圏の物価上昇率の低迷を受けて、ECBによるユーロ高牽制が警戒されることや、ユーロ圏の景気回復期待が一服していることから、ユーロの上値は重くなる展開を予想します。

MSCI EUROPE指数



ユーロ/円



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
欧州株式 MSCI EUROPE指数	1,309.79	1,467.41	1,440	1,460	1,480	1,500
為替 ユーロ/円	118.45	123.75	125.61	126.14	126.67	127.20

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済環境

中国では、鉱工業生産が新型コロナウイルス感染拡大前の水準を回復し、固定資産投資も持ち直しの動きが続いており、景気回復が順調に進んでいます。一方で、懸案だった個人消費についても、8月の小売売上高が前年同月比でようやくプラスとなりました。10月の共産党五中全会で発表予定の成長率目標が目先の注目材料と考えます。

新興国においては、新型コロナウイルスの感染拡大について国別の差異が生じており、ブラジルやインド等では感染拡大が続いています。新興国全般に、先進国と比較して医療体制が脆弱であり、財政面や経常収支の観点から脆弱な国も多いので、一部の国については引き続き注意が必要と思われる。

債券市場

◆ 前月の振り返り

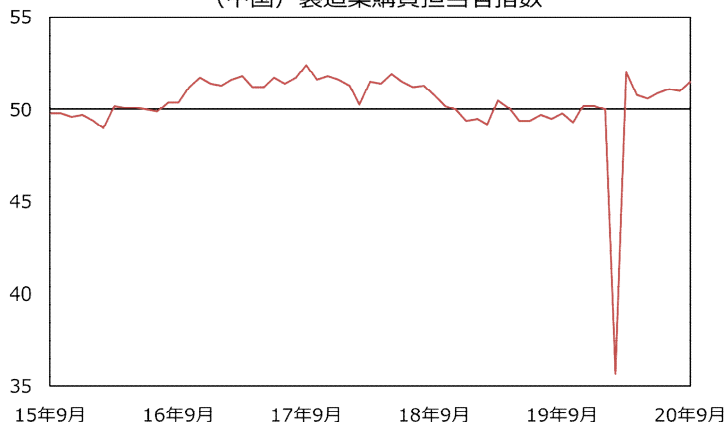
9月の新興国債券市場の利回りはほぼ横ばいとなりました。社会福祉支援策の拡充により財政収支悪化懸念が高まったブラジルや、経済活動の再開に伴い金融緩和政策の終了が示唆されたチリなどの利回りが上昇しましたが、その他の大部分の国では利回りの動きは小幅となりました。

◆ 見通し

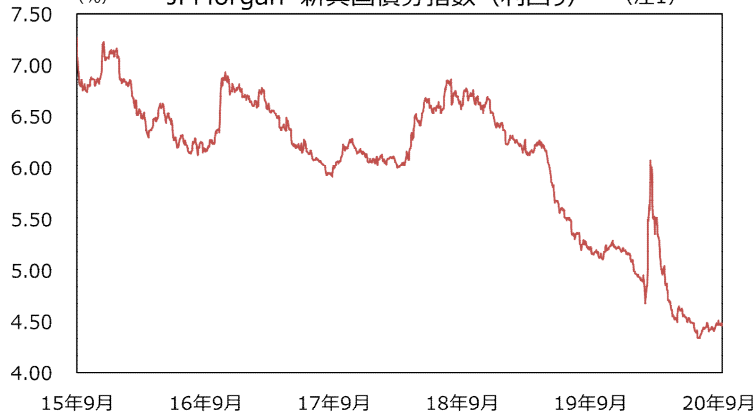
今後については、当面は一部の国での感染拡大や実体経済への影響が懸念されるため、値動きが荒くなる局面もあると考えますが、中長期的には高い金利収入がプラスのリターンをもたらすと考えます。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響は不透明感が強く注意が必要ですが、落ち着いたインフレ環境を背景に利下げを継続する国も多く、先進国より高い実質金利は魅力的と考えます。

(中国) 製造業購買担当者指数



(%) JPMorgan 新興国債券指数 (利回り) (注1)



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
新興国債券 JPMorgan新興国債券指数 (利回り) (注1)	5.31%	4.44%	4.30%	4.20%	4.10%	4.00%

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し： 新興国

株式市場

◆ 前月の振返り

9月のエマージング株式市場は、米国のハイテク株の調整がグローバルに波及してリスク回避姿勢が強まったこと、中国政府による不動産融資規制強化の方針が示されたことなどを背景に月間で株価はマイナスとなりました。

◆ 見通し

引き続き、地域によっては新型コロナウイルスによる景気及び企業業績への下押し圧力が残りますが、米国の低金利政策により新興国通貨は安定が見込まれます。その後、感染拡大がピークアウトに向かうにつれ、業績見通しの改善を通じて株式市場は回復すると予想します。

今後も、各国中央銀行による積極的な金融緩和や、各国の財政出動が、引き続き株式市場のサポート材料になると考えていますが、目先は米国の大統領選挙を巡る動きなどから、値動きの荒い展開が考えられます。

為替市場

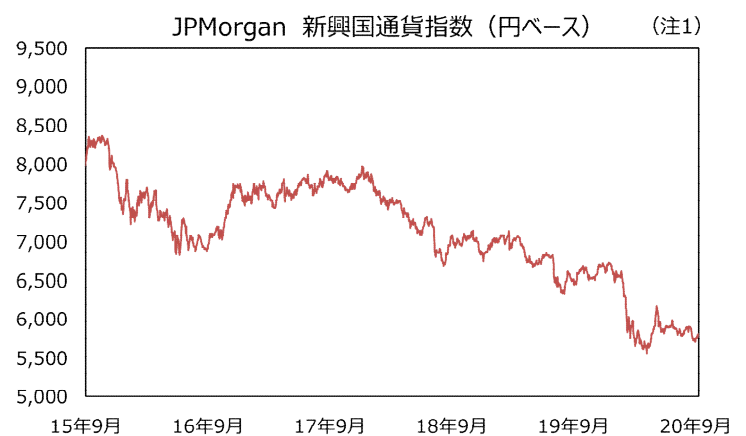
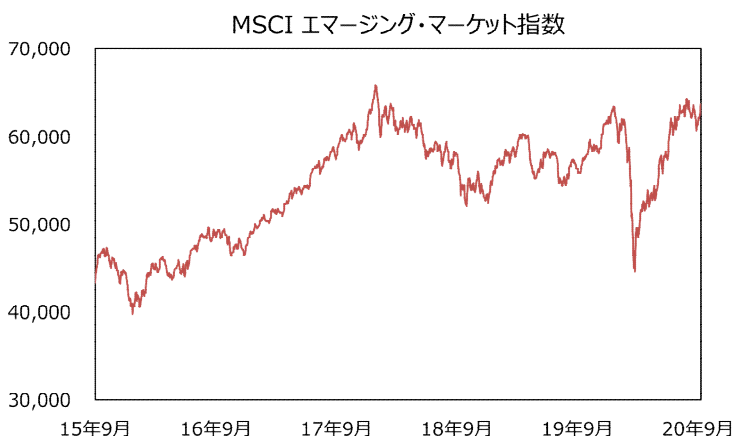
◆ 前月の振返り

9月の新興国通貨は、世界的にリスク回避的な傾向が高まるなかで下落しました。ロシア野党指導者への毒物疑惑など地政学リスクが高まったロシアルーブルや、新型コロナウイルスの感染拡大が著しいハンガリーフォリントなどの下落率が大きくなりました。

◆ 見通し

今後については、当面は新型コロナウイルスの感染拡大の状況などにより不安定な相場展開を予想するものの、中長期的には新興国通貨は対ドルで安定的に推移すると予想します。

インフレ率が安定推移していることで、新興国における政策の自由度が高まったと考えます。また、新興国と先進国の実質金利差が魅力的な水準にあるほか、バリュエーション上は割安であることが背景にあります。



Bloombergデータより当社作成

	20年3月末 実績値	20年9月末 実績値	20年12月末 予測値	21年3月末 予測値	21年6月末 予測値	21年9月末 予測値
新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数	49,578.12	61,978.40	62,000	63,000	64,000	65,000
為替 JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)	5,762.21	5,752.97	5,936	5,963	5,989	6,016

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

各資産クラスのリターン実績

青色は期間中に最も高いリターンであった資産クラス、
赤色は期間中に最も低いリターンであった資産クラスをそれぞれ意味します（短期資産を除く）。

2020年9月末時点

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	新興国債券	新興国株式	短期資産
過去1ヶ月間	0.3%	1.3%	-0.9%	-4.2%	-2.5%	-2.1%	0.0%
過去3ヶ月間	0.2%	5.2%	0.8%	5.8%	-1.2%	7.3%	0.0%
過去1年間	-1.8%	4.9%	5.8%	8.7%	-3.9%	8.3%	0.0%
過去3年間（年率）	0.7%	1.4%	2.4%	6.4%	-1.7%	0.6%	-0.1%
過去5年間（年率）	1.2%	5.2%	1.2%	8.6%	2.3%	6.6%	0.0%
過去10年間（年率）	1.5%	9.3%	5.2%	12.9%	3.0%	5.3%	0.0%
2019年度	-0.2%	-9.5%	4.4%	-12.4%	-9.2%	-19.4%	-0.1%
2018年度	1.9%	-5.0%	2.5%	10.1%	-3.3%	-3.3%	-0.1%
2017年度	0.9%	15.9%	4.2%	8.5%	7.9%	19.7%	-0.1%
2016年度	-1.2%	14.7%	-5.4%	14.5%	4.6%	16.6%	0.0%
2015年度	5.4%	-10.8%	-2.7%	-8.6%	-7.8%	-17.2%	0.1%
2014年度	3.0%	30.7%	12.3%	23.5%	3.5%	17.4%	0.1%
2013年度	0.6%	18.6%	15.3%	32.4%	1.7%	8.4%	0.1%
2012年度	3.7%	23.8%	17.7%	29.0%	23.0%	16.9%	0.1%
2011年度	2.9%	0.6%	5.0%	0.5%	2.7%	-9.2%	0.1%
2010年度	1.8%	-9.2%	-7.5%	2.4%	0.1%	5.4%	0.1%
2009年度	2.0%	28.5%	0.2%	46.8%	29.3%	71.8%	0.1%
2008年度	1.3%	-34.8%	-7.2%	-43.3%	-13.4%	-47.3%	0.4%
2007年度	3.4%	-28.1%	0.5%	-16.8%	-1.8%	2.6%	0.5%
2006年度	2.2%	0.3%	10.2%	17.9%	14.5%	21.1%	0.3%
2005年度	-1.4%	47.8%	7.7%	28.5%	22.7%	63.2%	0.0%

Bloombergデータより当社作成

国内債券 NOMURA-BPI（総合）
 国内株式 TOPIX（配当込み）
 外国債券 FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 外国株式 MSCI KOKUSAI（配当込み、円ベース）
 新興国債券（～2018/01）JPMorgan新興国債券指数（円ベース）
 （2018/02～）JPMorgan新興国債券指数（除くBB-格未満、円ベース）
 新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数（配当込み、円ベース）

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

市場予測

		2020年 3月末 実績値	2020年 9月末 実績値	2020年 12月末 予測値	2021年 3月末 予測値	2021年 6月末 予測値	2021年 9月末 予測値	2020年度 予測騰落率 (注3)
国内債券	Nomura-BPI総合	388.45	387.22	388.81	389.17	389.19	389.21	0.2%
	10年国債利回り	0.01%	0.02%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	-
国内株式	TOPIX	1,403.04	1,625.49	1,600	1,650	1,680	1,700	17.6%
	日経平均株価	18,917.01	23,185.12	22,700	23,000	23,300	23,500	21.6%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	476.89	493.22	497.88	498.68	497.47	498.66	4.6%
	米国10年国債利回り	0.67%	0.68%	0.70%	0.70%	0.75%	0.75%	-
	ドイツ10年国債利回り	-0.47%	-0.52%	-0.50%	-0.50%	-0.40%	-0.40%	-
	JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	5.31%	4.44%	4.30%	4.20%	4.10%	4.00%	-
外国株式	MSCI KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）	2,806.63	3,568.28	3,590	3,660	3,740	3,820	30.4%
	S&P500	2,584.59	3,363.00	3,350	3,400	3,450	3,500	31.5%
	MSCI EUROPE指数	1,309.79	1,467.41	1,440	1,460	1,480	1,500	11.5%
	MSCI エマージング・マーケット指数	49,578.12	61,978.40	62,000	63,000	64,000	65,000	27.1%
為替	米ドル/円	107.96	105.53	106.00	106.00	106.00	106.00	-1.8%
	ユーロ/円	118.45	123.75	125.61	126.14	126.67	127.20	6.5%
	JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注2）	5,762.21	5,752.97	5,936	5,963	5,989	6,016	3.5%

予測値は予想レンジの中心値を記載

注1 JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

注2 JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

注3 2020年度騰落率は、2020年3月末（実績値）から2021年3月末（予測値）までの騰落率

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

ご留意事項

投資一任契約に際しての一般的な留意事項

● 投資一任契約に係るリスクについて

投資一任契約に基づく運用は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従ってお客様から受託した資産の当初の評価額（元本）を下回ることがあり、さらに元本を超えて損失を被るおそれがあります。

投資一任契約の投資対象は、個別の投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご契約に当たっては契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

● 投資一任契約に係る費用について

[ご契約頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■ 投資一任契約の期間中に直接または間接的にご負担いただく費用

…… 投資一任報酬をご負担いただきます。適用する料率は、運用の対象となる資産、契約資産残高、契約内容等に応じて異なりますので、料率、上限額等を表示することはできません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■ その他の費用等

…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該投資一任契約に係る費用の合計額については、契約期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資一任契約を想定しております。投資一任契約に係るリスクや費用は、それぞれの投資一任契約により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく契約締結前交付書面等をご覧下さい。

投資信託をお申込みに際しての留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入手数料上限3.85%（税抜3.5%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬上限2.09%（税抜1.9%）
- その他費用等・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、S O M P Oアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

その他 留意事項

- 本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社（以下当社）が作成した資料です。
- 本書は、当社が、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。
- 本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。
- 本書は、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当社は、グローバル投資パフォーマンス基準（Global Investment Performance Standards, GIPS）への準拠を表明しています。なお、当社は、2012年4月1日から2020年3月31日の期間について独立した検証者による検証を受けております。当社は機関投資家向け資産運用及び投資信託運用の意思決定過程が一体化しておりますので、GIPS基準では、全体を「会社」として定義しております。なお、当社のコンポジットの概略一覧表およびGIPS基準に準拠した提示資料は、ご請求に応じご提出可能です。
- 請求先：S O M P Oアセットマネジメント株式会社
クライアントサービス第一部 電話：03-5290-3422
- 尚、検証は、（１）会社が、コンポジット構築に関するGIPS基準の必須事項のすべてに会社全体として準拠しているかどうか、および（２）会社の方針と手順が、GIPS基準に準拠してパフォーマンスを計算し、提示するよう設計されているかどうかについて、評価するものであり、検証は、特定のコンポジット提示資料の正確性を確かめるものではありません。